



春日井市立坂下中学校ニュースレター

坂中style

vol.7 令和5年7月

1 学期の取組を通して

本年度は3か年計画の最終年となります。後述する研究主題は変わりませんが、昨年度後半から取組を進めている「探究」について、みんなで学んでいくことにしました。

本年度の現職教育について

○本年度も引き続き、GIGAスクール環境（タブレットPCとクラウド）を活用した日常的な授業実践に次のテーマのもと取り組んでいます。

自分の考えをもち、生涯にわたって主体的に学び続けられる生徒の育成

～自分を見つめ自ら学習を整えるとともに、協働的な学びを実現できる授業実践を通して～

○4月の現職教育全体会では、新たなメンバーを迎え、これまでの実践について確認・共有しながら、ICTの日常的な活用の仕方、授業改善の考え方や方法の整理を行いました。

また、昨年度後半から「探究」を視野に入れた取り組みを始めました。そこで今後は、生徒自身の「学び方」についても研究を進めていきます。また、各教科だけではなく、教科横断的な探究活動を行えるよう総合的な学習の時間の活用も考えています。



授業参観でも普段どおり、ICTを活用しています



○4月27日に授業参観を行いました。昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響によって、中止したり、学年別に時間を分けて行ったりと制限がありましたが、今年度は4年ぶりに全学年一斉に実施することができ、教室の中へ保護者の方に入っていただく形で実施することができました。

2・3年生も中学校に入ってから、初めて近くで保護者の方には授業の様子を参観していただくこととなり、生徒も心なしか嬉しそうでした。

○保護者の方には、普段どおりにICTを活用したり、発表したりと生徒が主体的に活動している様子を見ていただくことができました。また、授業後は学年懇談会を行い、担任や保護者の方どうして顔合わせと情報交換を行いました。
(裏へつづく)

第1回校内授業研究会

○6月1日（木）、東京学芸大学の登本洋子先生をお招きして、校内授業研究会を行いました。

今回の研究テーマは「主体性・探究心をもって学ぶための課題設定（生徒が課題を発見）」「生徒が自分たちで課題を解決することを実現できるICT活用（総合的な時間も活用していく）」でした。

公開授業・研究授業では、見通しをもたせる学習計画の提示、クラウドを活用した情報共有を進めることで、生徒どうしが教え合ったり協働的に学習に取り組んだりする場面が随所に見られました。

研究授業後の学年協議では、「探究」を進めていく中で、どこまで情報を提供するのか、生徒にどのようにまとめさせるとよいのか等を話し合いました。



○全体会では、登本洋子先生から研究授業について良い点・改善すべき点等を紹介していただきました。また、今後の研究の進め方の指針となる「主体的な学習を導くカリキュラムデザイン」の必要性をご教授いただきました。その中で、生徒がテストに出るかどうかで学ぶ必要性を判断していないか、教員が「ここテストに出るからね」という伝え方をしていないか、教科書を教えることに追われていないかとのことばに、教員一同、ハッとさせられました。

今後は生徒に本時・単元の流れを意識させたり、個別最適化した授業を展開したりできるように、2学期に向けて研究に取り組んでいきます。

○次回以降の校内授業研究会は以下の通りです。（すべて教職員向けです）

☆第2回校内授業研究会 令和5年10月12日（木）

☆第3回校内授業研究会 令和6年 2月 8日（木）

行事や委員会活動でもICTを日常的に活用しています

○（左）「生徒総会」を今年度もリモート環境で行いました。生徒会や各委員会の昨年度の反省や今年度の活動方針を生徒会長や委員長が発表しました。

総会后、個別の質問や意見は生徒個人のタブレットPCのフォームを活用して集約し、生徒会や各委員会ごとに検討して回答をしています。

○（右）月例の「朝会」は時間短縮のため、今年度もリモートで行っています。校長の講話や生徒指導主事の指導、委員会・生徒会からの連絡等を教室内の落ち着いた環境で話を聞くことができます。



（文責・教頭）